

「つながり」のある町とはどんな状態の町ですか？

資料 8 - 5

- ・住民の交流の場が多くある
- ・集まる場所がある
- ・友人が多い
- ・あいさつの多い町
- ・定年後でも地元で楽しく過ごせる
- ・イベントに参加しやすい状態の町
- ・孤独な人がいない町

- ・自治会活動がほどよくある
- ・みんなが自分の居場所を持っている町
- ・ボランティア活動がさかん
- ・近所付き合いがほどよくある
- ・みんなが明るく元気な町
- ・情報が伝わる町
- ・相談できる人がいる町

- ・近所などの助け合い
- ・サポートし合う町
- ・孤立しない町
- ・気づき合う町
- ・声を掛け合う町
- ・受け入れる町

地域福祉

高齢者福祉

退職後、職場以外での人間関係の構築ができない(家庭以外の場が持てない)

協働まちづくり

退職後の社会参加、ボランティア参加ができない

退職後、セカンドライフに地域の居場所がなくなる(地域での自主的活動に参加できない)

人権尊重社会

男女共同参画

女性のリーダーがいなかったため、女性のことを考えたルールがない

コミュニティ活動

地域(東員町、自治会など)との関わりが減少

退職後、高齢者の地域孤立、サードプレイスがない

仕事を引退して人とふれあえる環境が不足

仕事と自治会事業の両立ができないことがある

自治会役員、地域活動の人手不足と高齢化

交流活動の推進

老人と子どもがふれあえる環境が不足

市街地・居住環境整備

引っ越し後、近所付き合いがうまくいかない

新居を購入し新たな土地での生活が不安、地域との協力が不安